

○男女共生学

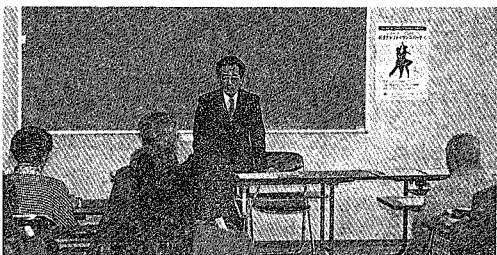


若い人の発言も積極的

六回にわたる学習プログラムが変化に富んでいた、興味深かったので受講しました。

一回目の鈴木美和子さんの講演で、新潟の女性には働き者で我慢強く、全国的にみても離婚率が低いこと、私も、なるほどと同感でした。五回目の「あじ新」さんの酒のつまみ料理教室は、楽しく実用的で、とても満足するものでした。土曜日の午後からの講座でしたが、全体的に、若い世代の参加が少なかったことが残念に思いました。

○古典に学ぶ



わかりやすい藤田先生の万葉講義

「学生時代に、こんなに興味を持ち集中した授業を受けたら人生変わっただろう」と感じた程、今回の講座はとても楽しくお聴きしました。良寛については、新潟に住んでいるからには造詣を深めたいと思い、万葉については、機会があったら学び直してみたいと思っております。藤田先生のおかげで、したいと思う程楽しかったです。チャンスが与えられるならもう少し長く受講できたならばよかったのにと、残念に思います。

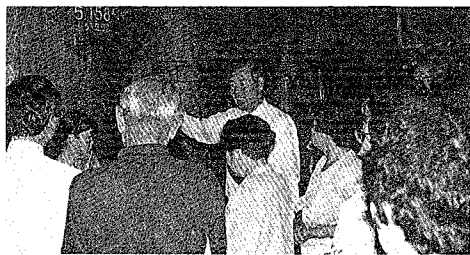


渡辺公子(新栄町)

このセミナーで、「良寛」と「万葉集」を聴いて、知っているようで知らないことが多く、講義の際の適切なプリントと、講師の方の、時には逸話などをはさんでいただき楽しかったです。

また、良寛が新潟と関わりがあることを知って驚き、万葉集においても、ただ歌の解釈だけでなく、作者のこころや時代背景もまじえていたこと、大変興味を覚えました。六回では不足の感があり、少し多くして今後も継続を切に望みます。

深井潤子(結)



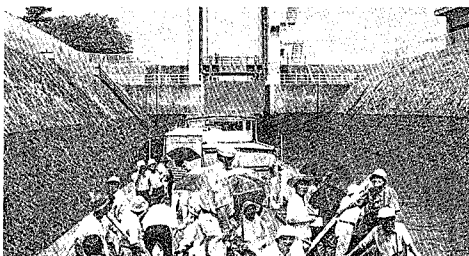
酒づくりの苦労話に聞き入る

「決定」の通知が来た時、実際のところ第一希望のセミナーでなかったため、あまり乗り気ではありませんでした。

ところが、講義を受けて見ると、酒、団子等、身近な物でありながらよく知らないことを体験を通して学ぶことができ、六回が「あつ」という間に過ぎてしまいました。

今は、より深く新潟の「食と産物」を学びたい気持ちでいっぱいです。今後も、このような機会を是非作ってください。

○ふる里ウォッチングⅡ (歴史と文化)



初めての体験 こんなに水位がちがうのか

○ふる里ウォッチングⅠ (食と産物)

磯目紀子(吉岡町)

津田前新潟大学長のアマゾンにおけるマングローブの講義にとても感銘し、期待を持ってこのセミナーに参加いたしました。

新潟の食と産物の講義、研修、見学、実習とバラエティに富んだもので、利き酒をしたり、三色ダンゴを作ったり、ガラス工場では、実際に花瓶を造ってみて、息を吹き込む難しさも体験することができました。

実り多いセミナーでしたが、時間の都合上もう少し深くという訳にはいかずそれが残念でした。

佐藤 太(六郷)

昭和二十五年以来、出稼ぎの生活に明け暮れ、七十才を過ぎて漸く生れ故郷に根をおろしホッとして、冥途の土産に故郷の認識を深めたいと思つて居った折、本講座に参加が叶い満足感を味わっております。

本講座が大勢の受講生に大変好評だったのは、市民の講師各位が貴重な体験や地道な調査研究の成果を、さりげ無く、熱心にお話下さる姿勢に、私は、他では味わい得ない新鮮さに好感を抱き喝采を送らせて載きます。



久しぶりに童心に返り、バブを使つてのロケットに挑戦

○自然とくらし

石本寧子(こがね町)

子育ても終わり、自分のための時間と思つておりましたところ、市民大学の募集 飛び付くような気持ちで参加しました。

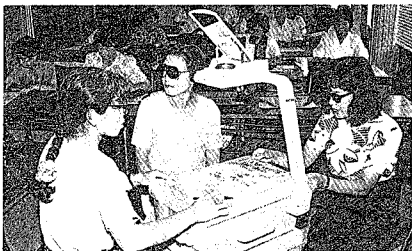
一回目は、市の発展と地名の由来。二回目は、巨樹・名木を訪ね、樹令五百年という榎、三百年のイロハモミジに気の遠くなるような時の流れを思い、カリンの木肌の絵も言われぬ美しさにみとれた一日、ある日は、石神・石仏をたずね、回を重ねることに楽しく、有意義で心豊かな日を過ごすことができました。



片山昭彦(金沢町二)

観察登山に興味があり、妻と二人で受講しました。体には自

○ボランティア



これからの分野「要約筆記」演習

信があつたのですが、山行後、階段には数日苦労いたしました。心地好い汗を、子供達にも体感させたく、さっそく、家族で登山に出かけたのですが、折角教えていただいた草花の名は、私のほうはさっぱりでした。

それでも、山行が楽しみになり、今では、来年の計画を家族で考えております。

湯上綾子(南町)

福祉ボランティアグループに参加していますが、市の福祉の現況、今後の課題、ボランティア活動の基本や心構え等のお話を聞き、活動の大切さを再認識いたしました。これからの活動の糧にしようと思ひます。

遠藤輝栄(南町)

人生を心豊かに潤すための生涯学習の場、新潟市民大学で、私は、ボランティア講座を受講しました。五月から十月の間、月一回の講義や見学、手話、要約筆記の実技練習、かんばらの里での実習、最終講義の終了した十月当分の秋天は、果しなく高く、青く、それは私の心に響いた。

おかげで、ボランティア精神が少しわかり、また、その活動は身にあることを知りました。この後は、できる奉仕に努め、生きがいの一つに加えようと考えています。

○ビデオ教室

阿部 トミエ(本町二)

市民大学で、ビデオ教室があると聞いて、私の趣味がビデオ撮影なので、年令からして講義について行けるか不安でしたが、とにかく応募しました。

趣味を同じくする者同志の集まりで、初めて会った人達ともなごやかに、時には、緊張する



編集に熱が入る 発表会が楽しみ

こともありました。上手な人から手法を学ぶことができ、勉強になりました。

本当の意味のゆとり社会を求める時に、よい企画をされた関係者の皆様に感謝申し上げます。

小松茂正(新栄町)

ビデオカメラの楽しみは、撮る楽しみ、見る楽しみ、見せる楽しみがあると思ひます。

楽しむためには基礎からと、この講座に参加しました。班毎(六人)にテーマを考え、撮影・編集したのですが、時間がかかり、思ったより難しく大変な仕事となりました。

撮り方と、編集の方法をもつと教えてもらいたいと思ひました。機械の種類と経費のかかることも知りました。楽しくて、よい勉強をさせてもらいました。